



小野崎まさき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

予算委員会で小野崎委員

防災・減災の取組み問う



答弁を聞く小野崎委員

農地転用等の土地利用調整をスムーズに行うことが大きな課題となっております。

要望 小野崎委員 自治体の規模による格差により、いつも懸念していることですが、なかなか事業に取り組みることが出来ないう、取り組んでもなかなか

市町村が企業の立地ニーズ等を踏まえた適切な候補地を指定すること、また、選定後には、特に

知事 産業用地の整備については、まず、市町村が企業の立地ニーズ等を踏まえた適切な候補地を指定すること、また、選定後には、特に

市町村に対して、補助金以外の支援助については、どのように取り組んでいくのか。

県では、市町村に対して、県がこれまで収集してきた企業ニーズや他自治体における開発の先行事例を紹介するとともに、関係部局が連携をして二元的に土地利用調整の相談に応じるなど、補助金以外の支援についても積極的に取り組んでいます。

今後とも、市町村としっかり連携をしながら産業用地の創出に取り組んでまいります。

2月定例県議会

小野崎委員 近年激甚化している豪雨災害や台風災害など、来るべき様々な災害に備え、更なる防災・減災対策を考えていかなければならない。

そこだろうか、県ではどのような考えに基づき、優先順位をつけて、河川整備を行っているのか。

県土整備部長 河川整備の優先順位については、豪雨による浸水などの被害実績のある河川、資産や人口の集中する河川、道路や空港などの開発により流出増が見込まれる河川などを考

慮して、整備を進めております。

小野崎委員 令和6年度に事業を予定している、一宮川以外の河川事業の取組状況はどうか。

県土整備部長 令和6年度に、国の補助金などを活

用して整備を予定している一宮川以外の河川は、旧江戸川や作田川など、34河川となっております。

その内容としては、洪水を安全に流すための護岸工や築堤工、河道を拡幅するための用地取得などとな

しております。

小野崎委員 千葉県では、令和3年の水防法の改定により規定が変更され、217河川の内、211河川全において「想定し得る最大規模の降雨」による洪水浸水想定区域の指定・公表されている。

その洪水浸水想定区域図を最大限活用し、市町村と連携を図り、他の防災・減災対策事業と連携して、災害時の被害が最小限に抑えられるよう事業に取り組んで頂きますことを要望する。

河川改修事業の進捗要望

対話と行動をモットーに地域の課題解決に力を注いでいる小野崎正喜県議は2月定例県議会予算委員会で質問に立ち、県の施策について知事ら県執行部に尋ねました。真つ先に防災・減災への県の取り組みを取り上げた小野崎県議は、被害を最小限にとどめるための河川改修を一層進めるよう要望、また、成田空港周辺地域の活性化に向けた調査検討についてその内容を質問しました。小野崎県議の質問と県執行部の答弁を特集します。

産業用地の整備促進へ 様々な県の支援必要

●県政についてのご意見、ご要望をお寄せください

小野崎まさき 県議事務所

〒289-1516 山武市松尾町田越756-3
TEL0479-80-8333 FAX0479-80-8388
E-mail info@onozakimasaki.com

空港核にした産業拠点形成

先端技術産業の

集積などを検討

小野崎委員 「成田空港を活かした持続可能な地域づくり検討事業」において、今年度はどのような検討を行っているのか。

空港を核とした産業拠点の形成に向けた調査検討を行っています。

具体的には、空輸に適した

高付加価値型製造業や、空

港への近接性を生かした機

器のメンテナンスセンター、

観光関連産業など、空港周

辺地域への集積を目指すべ

き産業分野の検討を行うと

ともに企業等へのニーズ調査を実施し、産業拠点形成の実現可能性の検討を行っているところだ。

小野崎委員 令和6年度

どのような調査検討を行

っているのか。

総合企画部長 今年度の

調査結果を踏まえ、事業実

現性を高めるために必要

な

小野崎委員 県として、市町のまちづくりをどのように支援していくのか。

知事 県では、大規模な開発を実施した経験が少ない市町を支援するため、今年度、都市再生機構から、まちづくりに関するノウハウを有する職員を迎え、事業の進捗が図られるよう、助言をしているところだ。

来年度は、有識者によるアドバイスも実施するほか、市町職員の育成を目的に、新たに研修生を受け入れるなど、支援体制を強化したいと考えています。

市町のまちづくりをどのように支援していくのか。

知事 県では、大規模な開発を実施した経験が少

ない市町を支援するため、

今年度、都市再生機構か

ら、まちづくりに関するノ

ウハウを有する職員を迎

え、事業の進捗が図られ

るよう、助言をしているこ

とだ。

来年度は、有識者によるア

ドバイスも実施するほか、

市町職員の育成を目的に、

新たに研修生を受け入れる

など、支援体制を強化したい

と考えています。

市町のまちづくり支援

専門職員がノウハウ助言

今後もしも引き続き、市町の実施するまちづくりが着実に進むよう支援してまいります。

小野崎委員 県に

はこれまで、空港

周辺における自治体間の

格差をなくすために、まち

づくりに関する効果的な

支援方法として、県職員の

市町への派遣や、まちづくりに

関する専門知識を学んで

いたため、市町職員

の派遣の受け入れを要望し

てきた。

空港周辺地域全体の発展

に向け、更なる支援体制の

強化を要望する。

安全・安心な道路へ

歩道整備と交差点改良

なインフラ整備等の課題への対応方策について検討するほか、先端技術産業の集

積に向けた検討など、より

具体的な取組を進めていき

ます。

小野崎委員 調査結果を

どのように施策に反映させ

ていくのか。

総合企画部長 当該調査

結果を踏まえ、事業実

現性を高めるために必要

な

なインフラ整備等の課題へ

の対応方策について検討す

るほか、先端技術産業の集

積に向けた検討など、より

具体的な取組を進めていき

ます。

小野崎委員 調査結果を

どのように施策に反映させ

ていくのか。

総合企画部長 当該調査

結果を踏まえ、事業実

現性を高めるために必要

な

なインフラ整備等の課題へ

の対応方策について検討す

るほか、先端技術産業の集

積に向けた検討など、より

具体的な取組を進めていき

ます。

小野崎委員 調査結果を

どのように施策に反映させ

小野崎委員 県では、農業者の所得向上に向けて、どのように取り組んでいく

のか。

知事 本県農業の持続的

な発展のために、意欲ある

の整備と3箇所の交差点改

良を実施しています。

これまで以上に延べ1130

以上の歩道整備と、2箇所の

交差点改良が完了しており、

来年度も、残る区間の用地

取得を進めてまいります。

小野崎委員 市の

中心地で、さんむ医療

センターの入口にもな

ることから、早期の整備完

了を要望する。

小野崎委員 令和6年度

から三年間で緊急的に田ん

ぼダム導入に取り組む市町

村に対し支援をしていくと

のことだが、どのように推進

を図っていくのか。

農林水産部長 今回の取

組は、令和5年9月の大雨

被害を踏まえ、近年多くの

浸水被害が発生している一

宮川、作田川、南白亀川の3

流域の市町村を対象に、3

年間で緊急的に実施しよう

とするものです。

実施にあたっては、関係市

町村と連携しながら、地域

積に向けた検討など、より具体的な取組を進めていきます。

小野崎委員 調査結果を

どのように施策に反映させ

ていくのか。

総合企画部長 当該調査

結果を踏まえ、事業実

現性を高めるために必要

な

なインフラ整備等の課題へ

の対応方策について検討す

るほか、先端技術産業の集

積に向けた検討など、より

具体的な取組を進めていき

ます。

小野崎委員 調査結果を

どのように施策に反映させ

ていくのか。

総合企画部長 当該調査

結果を踏まえ、事業実

現性を高めるために必要

な

なインフラ整備等の課題へ

の対応方策について検討す

るほか、先端技術産業の集

積に向けた検討など、より

具体的な取組を進めていき

ます。

小野崎委員 調査結果を

どのように施策に反映させ

ていくのか。

総合企画部長 当該調査

結果を踏まえ、事業実

現性を高めるために必要

な

なインフラ整備等の課題へ

の対応方策について検討す

るほか、先端技術産業の集

積に向けた検討など、より

具体的な取組を進めていき

ます。

小野崎委員 調査結果を

どのように施策に反映させ

ていくのか。

稼げる農業を實現

農業者の所得向上へ

また、その結果については、国や県、9市町、空港会社で共有し、産業振興や生活環境の向上など、成田空港周辺の地域づくりに関する実施プランに掲げる施策の具

体化につなげていきます。

また、国内外で需要が拡大しているサツマイモや産

出額日本一の日本なしなど、

本県の優位性を生かせる品

目を中心に、生産拡大と併

せ、ブランド力の向上や販

路拡大を図るなど、稼げる

農業の実現に向けて取り組

んでまいります。

小野崎委員 規模

拡大等を目指す農業

者への集中的な支援はも

とより、本県の全体の底上

げのためブランド力の強

化をはじめ各施策を確実

に進め、稼げる農業の実現

に向け取り組むよう要望

する。

小野崎委員 令和6年度

から三年間で緊急的に田ん

ぼダム導入に取り組む市町

村に対し支援をしていくと

のことだが、どのように推進

を図っていくのか。

農林水産部長 今回の取

組は、令和5年9月の大雨

被害を踏まえ、近年多くの

浸水被害が発生している一

宮川、作田川、南白亀川の3

流域の市町村を対象に、3

年間で緊急的に実施しよう

とするものです。

実施にあたっては、関係市

町村と連携しながら、地域

的に支援するとともに、生

産コストの低減に向けて、引

き続き、スマート農業を推

進してまいります。

また、国内外で需要が拡大

しているサツマイモや産

出額日本一の日本なしなど、

田んぼダムで

浸水被害を軽減

小野崎委員 令和6年度

から三年間で緊急的に田ん

ぼダム導入に取り組む市町

村に対し支援をしていくと

のことだが、どのように推進

を図っていくのか。

農林水産部長 今回の取

組は、令和5年9月の大雨

被害を踏まえ、近年多くの

浸水被害が発生している一

宮川、作田川、南白亀川の3

流域の市町村を対象に、3

年間で緊急的に実施しよう

とするものです。

実施にあたっては、関係市

町村と連携しながら、地域

的に支援するとともに、生

産コストの低減に向けて、引き続き、スマート農業を推進してまいります。

また、国内外で需要が拡大

しているサツマイモや産

出額日本一の日本なしなど、

本県の優位性を生かせる品

目を中心に、生産拡大と併

せ、ブランド力の向上や販

路拡大を図るなど、稼げる

農業の実現に向けて取り組

んでまいります。

小野崎委員 規模

拡大等を目指す農業

者への集中的な支援はも

とより、本県の全体の底上

げのためブランド力の強

化をはじめ各施策を確実

に進め、稼げる農業の実現

に向け取り組むよう要望

する。

小野崎委員 令和6年度

から三年間で緊急的に田ん

ぼダム導入に取り組む市町

村に対し支援をしていくと

のことだが、どのように推進

を図っていくのか。

農林水産部長 地域の地

形によつては、田んぼダムの

効果が見込まれる場合も考

えられることから、市町村か

ら相談があった場合は、水路

の保全管理などに充てられ

る「多面的機能支払交付金」

の活用について、検討を促し

てまいります。